





株主の皆さまへ



代表取締役兼社長執行役員 神谷 和秀

新たな収益源の拡大に 取り組み、事業構造の 転換を一層加速させて まいります。

CONTENTS

株主の皆さまへ 1	
特集3	
国内事業5	
海外事業7	
CSRの取り組み9	
連結財務諸表の概要11	
会社データ 13	

2011年3月11日に発生いたしました「東日本大震災」において被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

当社では、「クレジット相談カウンター」の設置や、「緊急特別ローン」の開始等、少しでも皆さまのお役に立てるよう取り組んでおります。

これからも、被災地域の一日も早い復興につながるよう、 全力を尽くしてまいります。

当期の業績

当期は、政府の経済対策等により、景気に持ち直しの動きがみられたものの、欧州を中心とする金融不安の高まりや原油価格高騰の影響等により、国内経済の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような中、当社では、クレジットカード事業の強化に加え、電子マネー事業、銀行代理業、インターネット事業等のフィービジネスの推進、海外事業では新たな国での事業拡大に取り組みました。

クレジットカード事業では、国内外において、カード会員募集を継続して強化した結果、連結の有効会員数は154万人純増の2,807万人(そのうち、国内有効会員数は2,000万人)に拡大することができました。

電子マネー事業では、WAON一体型カードの発行や地域マネーとしての展開を推進し、発行枚数および取扱高の拡大に継続して努めました。銀行代理業ではインストアブランチの新規出店による住宅ローンの取次ぎや口座募集を強化いたしました。

海外事業では、香港、タイ、マレーシアの上場各社において、 主力のクレジットカード事業を継続して強化するとともに、 保険代理店およびサービサー事業等、クレジット周辺事業の 業容拡大を図りました。また、インドネシア、フィリピン、 ベトナム等、新たな地域においても事業拡大を図ることができました。

以上の取り組みの結果、連結業績は、取扱高3兆1,946億57百万円(前期比106.7%)、営業収益は、電子マネー収益の計上方法を見直したことにより、1,691億91百万円(同98.1%)、営業利益はローコストオペレーションの徹底により207億17百万円(同100.8%)、経常利益は208億23百万円(同102.0%)と増益になりました。

また、当社が保有するイオン保険サービス株式会社の全株式を株式会社イオン銀行へ譲渡したことに伴う特別利益46億32百万円の計上、ときめきポイントの応募期限変更等に伴う将来使用見込の増加額、業務の効率化・ボリューム対応を図るための既存ソフトウェア除却費用等46億20百万円を特別損失に計上いたしました。この結果、当期純利益は95億40百万円と前期と比較し、93億42百万円増となりました。

来期の取り組み

当社では、クレジットカード事業など主力事業を強化するとともに、フィービジネスの推進、海外事業の展開等、新たな収益源の拡大に取り組み、事業構造の転換を一層加速させてまいります。また、法令遵守に向けた態勢整備に継続して努めるとともに、経営体質を強化するなど、企業価値の向上を図ってまいります。

今後も役職員一丸となり、株主の皆さまのご期待に沿えるよう、努力を続けてまいりますので、変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2011年5月

第30期 連結決算ハイライト (単位:億円)

			当期	前期比
取	扱	高	31,946	107%
営	業	立	1,691	98% *
経	常 乖	」 益	208	102%
当	期純	利益	95	改善額+93

第30期 単独決算ハイライト (単位:億円)

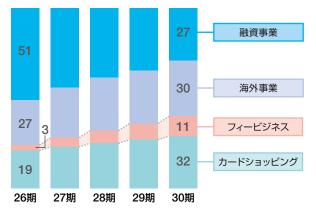
	当期	前期比
取 扱 高	28,743	106%
営 業 収 益	1,137	97% *
経常 利益	127	117%
当期純利益	81	改善額+107

※営業収益の前期比は、電子マネー収益の計上方法を前期と同一基準とした場合、連結で105%、単独で108%となります。

配当金の状況

	第29期(前期)	第30期(当期)
中間配当金	15円	15円
期末配当金	25円	25円
年 間 配 当 金	40円	40円

事業別収益構成比の推移(%)



特集

総合金融 サービスを 展開 「お客さま満足」の実現に向けて、「わかりやすく」、「便利で」、「親しみやすい」金融サービスを 提供しております。



■ 総合金融ショップを開設

クレジット、銀行、保険商品を「ワンストップ」かつ「スピーディー」に提供するため、総合金融ショップを開設いたしました。総合金融ショップでは、「イオンカードセレクト」の会員募集に加え、イオンにご来店されるお客さまに対して口座開設、住宅ローン、無担保ローン、投信、保険の販売等、さまざまな金融サービスを提供しております。

総合金融ポータルサイト イオンの「暮らしのマネーサイト」を開設

当社、株式会社イオン銀行、イオン保険サービス株式会社が提供するネットサービスを統合し、クレジット、銀行、保険、電子マネーのサービスをワンストップでご確認いただけるイオンフィナンシャルサービス「暮らしのマネーサイト」を開設いたしました。共通のID・パスワードでご利用いただけるなど、お客さまの利便性向上に取り組み、閲覧件数は月間4,800万ページビューと昨年10月のサイト開設以来、順調に拡大しております。

- ◆ 各社のネットサービスを1つのサイトでワンストップにご確認いただけます。
- これまでの当社「My Page」情報に加えて、「イオン銀行普通預金残高・ 定期預金残高」、「WAONポイント」等をご確認いただけます。



URL http://www.aeon.co.jp/

■ATM共同事業を開始

株式会社イオン銀行とATM共同事業を開始いたしました。共同でイオンのショッピングセンターやコンビニエンスストアへのATM新規設置を推進し、累計の設置台数を1,792台に拡大いたしました。



イオン銀行ATM

■ イオンセレクトクラブの設立

イオン銀行の住宅ローン契約者を対象に「イオンセレクトクラブ」を設立いたしました。「イオンセレクトクラブ」にご入会いただくと、イオンでのお買い物が5年間毎日5%オフ(※)になるなど、お得な特典を付帯しております。



国内事業

クレジットカード事業の競争力を強化するとともに、 電子マネー事業等フィービジネスの推進に 取り組んでおります。



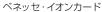
■カード会員拡大の取り組み

クレジットカード、キャッシュカード、WAONの機能・特典が一体となった「イオンカードセレクト」の会員募集をインストアブランチやインターネットを中心に継続して強化した結果、イオンカードセレクト会員数は59万人増の109万人、国内の有効会員数は95万人純増の2,000万人(そのうち、家族カード会員は101万人)、稼働会員数は78万人純増の1,193万人と順調に拡大いたしました。

■ クレジットカード事業の強化

株式会社ベネッセコーポレーションならびに首都高速 道路サービス株式会社との提携カードを発行し、新たな 顧客層の開拓に取り組みました。また、提携先企業との ときめきポイントアップキャンペーンや利用促進企画を 積極的に実施するとともに、総額1億円相当プレゼント 企画やカードお買上げ抽選会等、カード稼働率向上に取り組みました。さらに、銀聯と日本国内ならびに当社が事業展開するアジア各国での業務提携契約を締結し、全国各地で加盟店開発の強化に取り組みました。







イオン首都高カード



総額1億円相当プレゼント企画

電子マネー事業の拡大

羽田、函館、那覇空港等の商業施設や日本コカ・コーラ株式会社が設置する自動販売機での決済等、加盟店開発を強化するとともに、スマートフォンに対応したモバイルWAON機能、WAONのネット決済開始等、利便性向上に努めました。



自動販売機でのWAON決済

■国内子会社の取り組み

■ エー・シー・エス債権管理回収株式会社

公共料金等の集金代行業務の拡大を中心とした営業活動に継続して取り組みました。

■ イオン少額短期保険株式会社

ケガや病気で入院する平均期間に着目し、保障期間 を14日間に絞った医療保険「カトルセ」を開発し、 販売を開始いたしました。

■ イオン保険サービス株式会社

保険ショップを3店舗出店し、全国53店舗に拡大する とともに、ダイレクトメールやカタログでの販促活動 を推進するなど、保険販売の強化を図りました。

海外事業

香港、タイ、マレーシアの上場各社の成長に加え、新たな地域での事業拡大に取り組んでおります。



新たな地域での展開

インドネシアにおいて、加盟店ネットワークの拡大等、ハイヤーパーチェス事業を継続して強化した結果、黒字化を達成いたしました。また、フィリピンにおきましても、システム開発の業務受託拡大に取り組んだことにより、黒字転換を果たすことができております。さらに、ベトナムでは、家電販売店をはじめとした加盟店開発強化に伴う取扱高の拡大により、単月度黒字化を達成いたしました。

中国·香港

香港では、提携先企業の新規出店に伴う会員募集強化に加え、カード会員向け利用促進、イオン銀聯カードの即時発行等、取扱高の拡大に取り組みました。中国では、地場銀行からの債権回収業務の受託社数を増加させる等、業容拡大に取り組みました。



イオンカード募集カウンター

タイ

提携先企業との会員募集の強化や、現地小売業等でのカード利用促進企画を積極的に実施いたしました。また、タイ全土87ヶ所の営業拠点での保険商品販売、法人向けカーリース等クレジット周辺事業を拡大いたしました。



金融サービスカウンター

マレーシア

ポイントー体型カードの会員募集推進に加え、カード 利用によるポイント付与率のアップ等、稼働率向上に 取り組みました。また、ハイヤーパーチェス事業の加盟店 開発強化、保険代理店事業の拡大等により、増収増益 となりました。



カード受付カウンター

台湾

現地ショッピングセンターのグローバルモールとの 提携カード発行による会員募集の強化とともに、電話、 水道料金等の公共料金決済の拡大、加盟店精算業務 の推進等により、増収増益を達成いたしました。



グローバルモールとの提携

CSRの 取り組み 環境保全・社会貢献活動を積極的に推進することで 企業価値を継続的に高め、よき企業市民として地域社会の 発展に貢献できるよう取り組んでおります。



■ 環境保全・社会貢献活動

環境保全活動の取り組みでは、インターネットで閲覧できる「Web明細(環境宣言)」の会員登録を推進し、会員数を36万人増の66万人に拡大、月間で330トンのCO2削減が図れました。また、海外ではカンボジア、ベトナム、中国・万里の長城、国内では銚子市、三宅島、大和郡山市等において植樹活動を実施いたしました。社会貢献活動の取り組みでは、全国の社会福祉施設におけるボランティア活動や清掃活動に従業員が積極的に取り組みました。

■ 被災された皆さまへの支援活動

当社では、被災地区でのカード紛失やお支払相談等を 承る「臨時クレジット相談カウンター」の設置を行うとと もに、東日本大震災専用のフリーダイヤル開設に加え、 2011年4月1日からは被災地域にお住まいのイオンカード 会員さまを対象に「緊急特別ローン」を開始するなど、



臨時クレジット相談カウンター(イオン仙台中山店)

少しでも皆さまのお役に立てるよう取り組んでおります。 また、緊急災害復興支援募金を国内外の事業所で実施 するとともに、当社ホームページでクレジットカード、 ときめきポイントによる募金を受け付けました。



香港からの応援メッセージ(香港植樹日での寄せ書き)

■海外子会社の取り組み

香港

イオンクレジットサービス(アジア)では、現地従業員による植樹等、ボランティア活動を実施するとともに、ユニセフ青年大使プログラムへの協賛、大学への奨学金寄付を継続的に実施しております。



ユニセフ青年大使プログラム

91

イオンタナシンサップ(タイランド)では、タイ国内で発生 した洪水被災者に対する寄付、事務センターでの献血 活動、社会福祉施設への寄付・交流活動等、さまざまな 社会貢献活動を積極的に実施いたしました。



社会福祉施設での交流活動

連結財務諸表の概要

連結貸借対照表 (単位:百万円)

	前期 2010年 2月20日現在	当期 2011年 2月20日現在	増減		前期 2010年 2月20日現在	当期 2011年 2月20日現在	増減
【資産の部】				【負債の部】			
				流動負債	272,178	336,788	64,610
流動資産	769,527	750,561	△18,966	短期借入金	18,671	5,586	△13,084
田会立が否合	00.075	20.000	7,000	1年内返済予定の長期借入金	93,891	129,712	35,821
現金及び預金	23,875	30,902	7,026	1年内償還予定の社債	16,811	14,507	△2,304
割賦売掛金	300,782	384,261	83,479	その他	142,804	186,982	44,177
		,		固定負債	417,468	384,590	△32,878
営業貸付金	423,324	293,427	△129,897	社債	89,053	81,885	△7,167
7 O /II	74.450	04.00	00.400	長期借入金*	301,736	280,574	△21,162
その他	74,158	94,297	20,138	利息返還損失引当金	22,840	16,017	△6,823
貸倒引当金	△52,613	△52,327	286	その他	3,837	6,113	2,275
	-02,010	-02,021	200	負債合計	689,647	721,378	31,731
固定資産	96,718	150,936	54,218	【純資産の部】			
				株主資本	161,712	164,978	3,266
有形固定資産	9,929	12,848	2,919	資本金	15,466	15,466	_
無形固定資産	12,605	14,957	2,352	資本剰余金	17,046	17,046	_
無心回足負性	12,000	14,337	2,002	利益剰余金	129,386	132,652	3,266
投資その他の資産	74,183	123,130	48,946	自己株式	△187	△187	△0
		·		評価・換算差額等	△5,733	△5,745	△11
繰延資産	119	80	△38	少数株主持分	20,739	20,967	227
資産合計	066.064	001 579	05.010	純資産合計	176,717	180,199	3,481
貝圧口司	866,364	901,578	35,213	負債純資産合計	866,364	901,578	35,213

※債権流動化借入金含む

連結株主資本等変動計算書	当期(2010年2月21日から2011年2月20日まで)
--------------	------------------------------

連結株主資本等変動計算書	当期(201	当期(2010年2月21日から2011年2月20日まで)						(単	位:百万円)		
		株主資本			評価・換算差額等						
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価 · 換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産 合計
2010年2月20日 残高	15,466	17,046	129,386	△187	161,712	770	△1,598	△4,905	△5,733	20,739	176,717
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△6,274		△6,274						△6,274
当期純利益			9,540		9,540						9,540
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						388	990	△1,390	△11	227	215
連結会計年度中の変動額合計	_	_	3,266	△0	3,266	388	990	△1,390	△11	227	3,481
2011年2月20日 残高	15,466	17,046	132,652	△187	164,978	1,158	△608	△6,295	△5,745	20,967	180,199

連結損益計算書



197

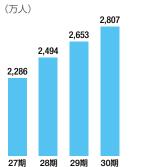
■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前期 2009年2月21日から 2010年2月20日まで	当期 2010年2月21日から 2011年2月20日まで	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	16,386	29,042	12,655
投資活動による キャッシュ・フロー	△17,419	△8,861	8,558
財務活動による キャッシュ・フロー	△36,376	△12,941	23,435
現金及び現金同等物に 係る換算差額	150	△585	△735
現金及び現金同等物の 増加(△減少)額	△37,259	6,654	43,913
現金及び現金同等物の 期首残高	60,202	23,012	△37,189
新規連結に伴う現金 及び現金同等物の増加額	69	_	△69
現金及び現金同等物の 期末残高	23,012	29,666	6,654

連結有効会員数

当期純利益



連結カードショッピング取扱高

9,540

4,821.4



部門別連結営業収益

部門	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
カードショッピング	54,679	32.3	113.1
融資事業	45,262	26.8	86.9
フィービジネス	18,353	10.8	85.1
海外事業	50,896	30.1	100.9
合計	169,191	100.0	98.1

フィービジネス部門の前期比は、電子マネー収益の計上方法を前期と同一 基準とした場合143.6%、合計の前期比は、105.4%となります。

会社データ

会社概要(2011年2月20日現在)商号イオンクレジットサービス株式会社上場証券取引所東京証券取引所市場第一部
(証券コード:8570)本店東京都千代田区神田錦町一丁目1番地電話番号(03)5281-2030(代表)URLhttp://www.aeon.co.jp/設立1981年6月20日

154億6,650万円

取締役·	監査役・	執行役員
------	------	------

(2011年5月12日現在)

表 取 社 長 執	締 行 役	役員	神	谷	和	秀
締役兼専務	药執行役	員	黒	\blacksquare	成	人
締役兼専務	ろ 執 行 役	員	水	野	雅	夫
締役兼常務	ろ 執 行 役	員	清	永	崇	司
締役兼常務	ろ 執 行 役	員	若	林	秀	樹
締役兼常務	ろ 執 行 役	員	小	坂	昌	範
締 役 オ	相談 談	役	森		美	樹
勤監	査	役	谷	内	寿	照
查		役	杉	原	弘	泰
査		役	山	浦	耕	志
查		役	西	松	正	人
行	役	員	斉	藤	達	也
行	役	員	山	\blacksquare	義	隆
行	役	員	池	西	孝	年
行	役	員	玉	井		貢
行	役	員	伊	藤	秀	行
行	役	員	遠	藤	千	春
行	役	員	中	JII	伸	_
行	役	員	桜	庭	博	文
	在 締締締締締 一位	社缔締締締締締 期 行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行	社 締締締締締締	社 締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締のと 登役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役役	社 締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締締務務執執執 「行教執教教執執 「行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行行	社 接

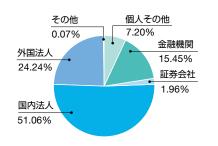
株式の状況	(2011年2月20日現在)
発行可能株式総数	540,000,000 株
発行済株式総数	156,967,008 株
株主数	14,894 名

大株主

(2011年2月20日現在)

(2011年2月20		月20口坑江)
株主名	持株数	持株比率 (%)
イオン株式会社	71,576	45.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,415	4.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,694	2.99
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	3,368	2.14
マックスバリュ西日本株式会社	2,646	1.68
ドイツ証券株式会社	2,450	1.56
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	2,348	1.49
ミニストップ株式会社	2,290	1.45
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,446	0.92
マサ ジャパニーズ エクイティ	1,337	0.85

所有者別株式数の構成比



監査役は全員、会社法に定める社外監査役であります。

株主メモ

決 算 期 2月20日

基 準 日 定時株主総会基準日 2月20日

期末配当基準日 2月20日

中間配当基準日 8月20日

定 時 株 主 総 会 5月20日までに実施

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

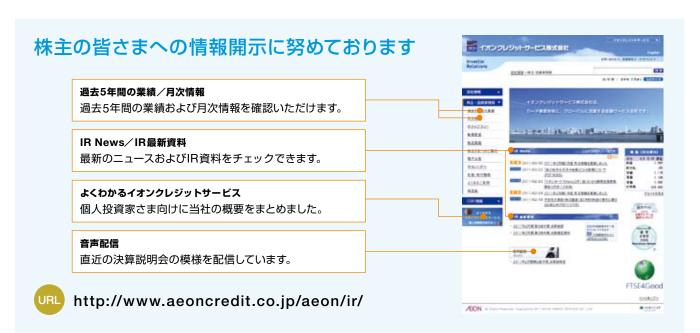
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

単元株式数 100株

公 告 方 法 電子公告(http://www.aeon.co.jp/)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、

日本経済新聞に掲載することといたします。







イオンカード、イオンバンクカード、WAONの機能・特典が1枚に。

イオンカードセレクト

クレジットカード



キャッシュカード















イオン銀行ATM

イオン各店舗の営業時間内であれば、いつでもご利用いただけます。



詳しくはこちらから▶URL http://www.aeonbank.co.jp/ 携帯電話はこちらからアクセスしてください▶









